

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	木川西・T社マンション新築工事				
建設地	淀川区木川西2丁目				
建築用途	共同住宅				
建築主					
設計者					
敷地面積	1,058.34	m ²			
建築面積	492.09	m ²			
延床面積	3,523.02	m ²			
構造/階数	RC造	/ 地上10階			
完了年(予定)	2025年2月				

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)													
B- BEE =0.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★		★ ★ ★ ★ ★ 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★ 標準計算 <table><tr><td>①参照値</td><td>100%</td></tr><tr><td>②建築物の取組み</td><td>94%</td></tr><tr><td>③上記+②以外の</td><td>94%</td></tr><tr><td>④上記+</td><td>94%</td></tr></table> このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです		①参照値	100%	②建築物の取組み	94%	③上記+②以外の	94%	④上記+	94%	ラベル表示 有					
①参照値	100%																
②建築物の取組み	94%																
③上記+②以外の	94%																
④上記+	94%																
2-4 中項目の評価(バーチャート)																	
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.3						Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7						Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.0					
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4						LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.4						LR3 敷地外環境 LR3のスコア=2.8					
3 設計上の配慮事項																	
総合						その他											
BEIが0.95以下となるように設計し、省エネルギー化を図っています						特になし。											
Q1 室内環境						Q2 サービス性能						Q3 室外環境 (敷地内)					
ロビーに大開口の建具を採用しています。						階高2.9m以上を確保しています。						敷地内に適度に緑地を設ける取り組みを行っています。					
LR1 エネルギー						LR2 資源・マテリアル						LR3 敷地外環境					
建具にLow-E複層ガラスを採用して、省エネ化を図っています。						特になし。						適切な棟間距離を確保できる配置にしています。					

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.6

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.2
配慮事項	建具にLow-E複層ガラスを採用して、省エネ化を図っています。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	敷地内に適度な緑地を設ける取り組みをしています。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	多くの住戸で等級4を確保する。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.0
配慮事項	高効率の設備機器を導入してBEI0.9を確保できるようにしています。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級3 (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] -
	建物全体[BEI][BEIm] 0.90	住宅部分[BEI] 0.90
一次エネルギー消費量		非住宅部分[BEI][BEIm] -